

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	川目地区憩いの広場施設管理事業			事業コード	1607
担当課等	所属名 農林部 農政課			担当係名	
課長名	小原俊彦	担当者名	中村 由希子	電話番号	6036

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	活力ある産業の振興	コード	施策	活力ある農林業の振興	コード			
			5			1			
	基本事業	生産意欲と技術の向上	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 6款 1項 6目 川目地区憩いの広場施設管 理事事業(004-01)				
特記事項									
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 H15年度～)					
事務事業の概要	産直施設「てんぐの里106」に隣接している「憩いの広場」パーキングトイレ施設について維持管理を行う								
根拠法令等									
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)									
当該施設は、国道106号線の休憩施設として、また高規格道田の沢インター線出口として利用が多く見込まれることから、平成14年度に県が地元の要請に応えてトイレ及び舗装整備を行った。他の類似施設「道の駅」同様に地元市町村での管理が求められていることから、当該事業を実施するものである。									
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか									
特になし									
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか									
今後は利用者の増加も見込まれることから、当該施設内の破損や故障等が生じた場合にはより速やかな対応が求められるようになってくる。									

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	憩いの広場パーキングトイレ施設及びパーキングトイレ利用者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. パーキングトイレ	単位	戸
				B. 盛岡市民		
				C.		
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 維持管理を行った。  23年度計画(23年度に計画している主な活動) 適切な維持管理を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 電気料	単位	円
				B. 凈化槽汲取料		
				C. し尿処理槽維持管理業務委託		
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	当該施設は産直施設に隣接しており、国道106号線の休憩施設として利用が多く見込まれるものであるため、ドライバーの利便施設として提供するものである。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 隣接する産直施設利用者数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】	単位	人
				B. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】		
				C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図・上位の基本事業にどのように貢献するか)	自立が図られる	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	都市・農山村交流人口(単位:人) 農業純生産額(単位:百万円) 林業純生産額(単位:百万円)		

## 2. 事務事業の実施状況(続き)

### ⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	バーティングトイレ	戸	1	1	1	1	1	1	年度
対象 指標B	盛岡市民	人	292035	291709	291709	298148	298148		年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	電気料	円	261183	256772	249000	242695	244000		年度
活動 指標B	浄化槽汲取料	円	206507	167605	168000	179000	179000		年度
活動 指標C	し尿浄化槽維持管理業務委託	円	85050	81900	68040	68040	67620		年度
成果 指標A	隣接する産直施設利用者数	人	81245	85000	80000	63500	63500		年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

### ⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	564	518	510	490	492		*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	564	518	510	490	492	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	564	518	510	490	492		*****
	延べ業務時間数	時間	50	50	50	50	50		*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	200	200	200	200	200	0	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	764	718	710	690	692	0	*****

### 3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか?	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		理由:他の類似施設「道の駅」と同様に地元市町村での維持管理が求められている。
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他		理由:産直利用者のほか、市民に広く開放されており妥当である。	理由:施設利用者のためになっており、現状のままで妥当である。
有効性評価	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	↳ 「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他		理由:施設利用者のためになっており、現状のままで妥当である。
	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
理由:トイレの利用者については、産直施設等の規模が現状のままであれば、大幅な増加は期待できない。			
効率性評価	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	その内容:施設管理ができなくなり、産直施設の利便性が減少する。		
公平性評価	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？
	統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる <input type="radio"/> できない		⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:		
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:維持管理内容が変わらない限り、削減は難しい。		
公平性評価	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:施設の維持管理であるため、これ以上の削減は難しい。		
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
理由:通行者すべてに開放しているため。			
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:施設の維持管理であるため。		

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること
	利用者の増加により、維持管理費は増加することが考えられるのでコストの削減は難しい。状況に応じて適切な汲取りを行い、また今後修繕が必要になった場合等を想定し、地元管理者及び設置者である県と連携をとり、最善策を検討していく必要がある。

②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？それをどう克服していきますか？  
(関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)

利用者の増加に伴う汚泥量の増加が懸念される。万が一、河川の汚染が確認された場合は市の責任となるため、毎年必要な汲取りを行うための予算確保に努める必要がある。

#### 5. 課長意見

一次 評価	(1)一次評価者としての評価結果		(2)全体総括(振り返り、反省点)
	① 必要性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	
	② 有効性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	
	③ 効率性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	
	④ 公平性	<input checked="" type="radio"/> 妥当	
今後 の 方向 性と 改革 改善 案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案)		
	<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	→ <input type="checkbox"/> 改革改善を行う
			<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
方向付けの理由と改革改善の内容			
県及び地域と連携しながら適切な施設の管理を継続する。			